

# 畜産みやぎ

発行所

名取市増田字柳田379番地1

法人 宮城県畜産会

電話 (382-8133)

編集発行人 大堀 哲

定価 1部80円

印刷所 (株)東北プリント



虎

## も く じ

- 年頭挨拶…………… 2
- 年頭あいさつ「躍動する攻めの県政を推進」…………… 3
- 優秀農林水産業者の表彰について…………… 4
- 平成9年度宮城県農業コンクール
- 宮城県農業賞受賞者(集団の部)の概要…………… 4
- 平成9年度地域養豚振興特別対策事業について…………… 5
- 口蹄疫の講演会と防疫演習について…………… 6
- 第12回ヘルシーセミナーの開催について…………… 7
- 平成9年度畜産学部卒業論文発表会…………… 7
- 牧草・飼料作物の優良品種の選定について…………… 8
- 豚の日本脳炎…………… 9
- 「畜産環境シンポジウム in 大崎」の開催…………… 9

# 年頭挨拶



宮城県畜産会会長 大堀 哲

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはご家族お揃いで新春をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

昨年の我が国の社会情勢は、金融機関等の不祥事、大手企業の経営破綻等があり大きな社会問題となり、景気低迷の長期化が危惧されるなか、国内経済の先行不安を増幅する激動の年でありました。

さて本県農業は、基幹作物である稲作は春先の天候不順により作柄が心配されましたが、その後の天候回復により豊作となり誠に喜ばしいかぎりですが、新食糧法の下に米の流通システムも大きく変わり、米在庫の急増となり減反政策が強化され、また農地税制も農業経営を圧迫している現状にあり誠に厳しい状況にあります。

一方畜産は、昨春台湾で発生した豚の口蹄疫による豚肉の輸入禁止、病原性大腸菌 O-157 による食中毒の発生等消費者の安全傾向が強まる中で大きな波紋を投げかけた一年でもありました。

ご案内のとおり畜産の現状は、畜産農家戸数、頭数の大巾な減少、担い手不足、高令化の進展、畜産物需要の鈍化等畜産を取り巻く環境も誠に厳しく、国際化が進展するなか輸入畜産物との価格競争が益々激化すると考えられます。

国際競争力に打ち勝つ経営体質の強化が大事ではありますが、昨今の消費者動向は畜産物に対する安

全性の指向が一段と高まり、信頼出来る畜産物の生産と供給を強く求めています。

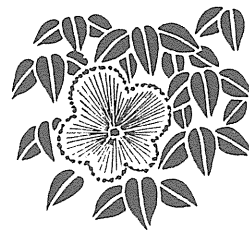
消費者は「安くて」「美味しく」「安全」という非常に高い次元で供給を求めていますので、生産者はこのニーズに応える努力が必要で、安全で品質の高い信頼出来る畜産物の生産と安定供給に向けた生産体制の確立が課題と考えております。

畜産物の輸入自由化以降、O-157、台湾で発生した豚の口蹄疫等により一時的には価格面で追い風があったものの経営内容は厳しいことには変わりありません。

畜産は米に次ぐ基幹作物として期待されておりますので現状を厳しく見据え、産業としての意識を持ち、より安定した生産と合理化を図るとともに生産者と消費者との交流を通じ多様な消費者ニーズに対応した生産体制と、より高度や生産経営技術の確立に向け生産者並びに関係者が一丸となった事業の展開が重要と考えております。

本会では、経営診断事業、各種情報の提供等指導事業の充実強化を図り、皆様の経営支援になお一層の努力を致す所存でありますので、関係各位のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げる次第であります。

最後に畜産農家、関係皆様方のご多幸と一層のご発展をお祈り申し上げ年頭のご挨拶といたします。



畜産振興の明日を  
担う地方競馬

地方競馬全国協会

**STAR** スター農業機械

**マニュアルフレッタ**

倍角ステアリングで  
ラクラク作業

T B M1550 + A D W1800  
(倍角ステアリングタイプ) (フェイスレーザ)

**スター農機株式会社** 仙台営業所  
〒985 多賀城市町前 2 丁目87 TEL 022-367-4573

●効能……粗飼料の食い込み、消化吸収促進  
悪臭防止、優良堆肥作り  
創業38年の販売実績を誇る安全、天然野生酵母

**Ferment Feed**

**ピタコーゲン**

株式会社 **セイフ** 東北営業所  
〒980 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号  
TEL (022)215-3112  
FAX (022)213-7190

### 躍動する攻めの県政を推進



宮城県知事 浅野 史郎

新年おめでとうございます。

皆様には、ご家族おそろいで希望と期待に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私は「夢航路 未来号」のキャッチフレーズのもと県民一人ひとりの思いを大切にしながら、宮城の夢の実現と明るい未来にむけて、県政の改革、県土の均衡ある発展に懸命に取り組んでまいりました。

さて、農業をめぐる情勢は、国際化の進展や食糧法の施行など、大きな転換の時期を迎えており、畜産をめぐる環境も平成3年4月の牛肉の輸入自由化、平成7年4月からは乳製品の関税化や畜産物の関税率引き下げが実施され、新たな国際環境に対応した経営の体質強化が求められています。

このように、農業をとりまく情勢は新たな局面を迎えておりますが、農業・農村は、食生活の主要な役割を担う「生命産業」としてのみならず、国土や自然環境の保全、心身の保養や憩いの場の提供等多面的な公益機能を有しており、その果たす役割は今後一層重要になっていくものと考えられます。

このような中で、本県では昨年9月に、農業者が夢と誇りを持って農業経営に取り組むことができ、消費者が求める安全な農畜産物の供給等に応えるとともに、活力と潤いのある農村地域をつくり上げるための指針として「みやぎ未来『農業・農村』ビジョン」を策定したところです。

今年は、このビジョンを着実に実行することにより、本県農業が新しい時代に対応した魅力ある産業として発展できるよう積極的に支援して参りたいと考えております。

特に畜産においては、「新たな国際化に対応した畜産の展開」をスローガンに掲げ、二十一世紀に向けて自立と持続的な発展が図られるような畜産の確立に努めてまいりたいと考えております。

そのため県では、平成17年度を目標とする「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」で、畜産農家が自らの経営に意欲をもてるような将来方向を示すとともに、畜産物の安定供給と酪農、肉用牛及び養豚等畜産経営の健全な発展を推進し、新しい時代の要請にこたえるため「躍動する攻めの県政」を進めます。市町村、農家の皆様方と一体となって種々の施策に取り組みたいと思いますので、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

年頭に当たり、県民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、ごあいさついたします。



**ORION**  
ともに前進 技術のオリオン

**酪農家の**  
声を反映した製品づくりと安心のおけるアフターサービスはオリオングループの誇りです。

**東北オリオン株式会社**  
本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691  
宮城営業所 吉川市新田字良理敷59-4 ☎989-61 T E L (0229)26-4330

動物用医薬品 犬・猫用ノミ駆除剤  
**フロントライン・スプレー** **新発売**

動物用医薬品  
ビタミンE・セレン配合ミネラル飼料添加剤  
**鉱塩E100**

**東北ゼンヤク株式会社**  
〒981-33 宮城県黒川郡森谷町あけの平2丁目31-5  
TEL 022-348-6791 FAX 022-348-6794

**TCM 東洋運搬機**

農業処理工程のあらゆる局面で活躍。畜産農家の近代化に作業の省力化に大きく貢献します。豊富なアタッチメント。

**TCM 東洋運搬機株式会社**  
**東北ティ・シー・エム株式会社**  
983 仙台市宮城野区中野字茶畔135-1  
電話 022-259-6351

### 優秀農林水産業者の表彰について

#### 宮城県畜産課

平成9年11月23日、皇居及び明治神宮会館において、平成9年度(第36回)農林水産祭表彰式典が開催されました。

式典では、農林水産大臣はじめ各界代表者、中央地方農林水産関係者の出席を得て、天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞の授与が行われました。本県畜産関係では、次の方々为荣ある賞を受賞されました。心からお喜び申し上げますとともに、ますますの御発展をお祈り致します。

表彰事業名	品目	市町村	授賞者
平成8年度宮城県総合畜産共進会	乳用牛	登米町	高橋 義之
	肉用牛	南郷町	只野 善久
	肉 豚	豊里町	佐々木章一
第36回仙台牛枝肉共進会	牛枝肉	三本木町	小高 栄

(家畜改良係 佐々木宏行)



### 平成9年度宮城県農業コンクール 宮城県農業賞受賞者(集団の部)の概要 宮城県農政部経営経済課

- J A 古川市肉牛枝肉生産部会  
(58名, 代表者: 結城猛夫)

昭和55年に古川市の肥育牛生産者は、生体取引から枝肉取引への販売流通体系の変化を見越して、古川農業協同組合肥育牛部会を母体として新たに枝肉生産部会を設立しました。

本部会は設立の翌年に「肥育牛事故相互補償制度」を発足させ、肥育素牛の死亡・病傷・事故等による枝肉への損傷、疾病による治療費について生産者の経済負担の軽減を図り、経営の安定と規模拡大に大きく貢献してきました。

一方、経営管理支援対策では、「経営記帳研修会」「税務申告研修会」による経営管理手法の習得と、正確な経営データの記録と分析による経営センスの充実が図られています。

また、飼養管理技術対策では、肥育技術の高位標準化を目的として飼養管理技術マニュアルの作成、良質牛生産事故防止対策事業、獣医師・関係指導機関等による定期巡回指導、部会内和牛能力間接検定等に取り組み、「仙台牛」の認定率が産地指定29農協中4年連続第1位の実績を記録しています。さらに、繁殖牛農家との積極的な連携を図り、古川市和牛改良組合とともに「古川市和牛の郷づくり低コスト生産組合」を設立し、地域内繁殖・肥育一貫生産を推進しています。

消費販売対策では、産直活動や試食会を関東のデパート等で実施するとともに、「仙台牛の賞味会」を開き買参人にPRするとともに、生産者の顔が見える牛肉として「顔」写真入りで販売し、消費拡大に取り組んでいます。

こうした取り組みにより設立時に部会員46名、飼養頭数992頭、1戸あたり平均飼養頭数21.5頭であったものが、平成8年には部会員56名、飼養頭数1,475頭、平均飼養頭数25.4頭へと拡大されています。


(経営体育成係 佐々木吉一)

**KOMATSU**

カンタン操作で、  
飼料も堆肥もラクラク作業



**コマツ宮城株式会社**  
仙台市宮城野区扇町二丁目1の30  
電話(022)(237)7441番(代)

飼料は  まるきた印

採卵鶏用配合飼料 肉牛用配合飼料  
ブロイラー配合飼料 乳牛用配合飼料

**北日本飼料株式会社**  
石巻市川口町3丁目2番8号  
TEL 石巻 0225 (22) 6111  
FAX 石巻 0225 (22) 6116

ビフィズス菌は  
ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。  
洗きたまま腸までとどきます。

**ビヒダス**  
ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社 名取市殿野坂五丁目1番3号  
☎ (022) 384-5181

## 平成9年度地域養豚振興特別対策事業について

宮城県畜産会

本事業は、近年における養豚を取り巻く状況にかんがみ、養豚の生産振興、生産性の向上を図る事業を支援するため平成8年度から12年度までの5ヶ年間の事業として本会が事業主体となり地域養豚振興特別対策事業を実施しております。

本事業は、(1)器具・器材・簡易施設整備事業(①SEW, 給餌器, ハウス豚舎などの簡易施設整備, ②種豚導入), (2)銘柄化促進事業, (3)産直体制確立事業, (4)地場消費促進事業の4事業が柱となっておりそれぞれ一定額を助成する事業です。

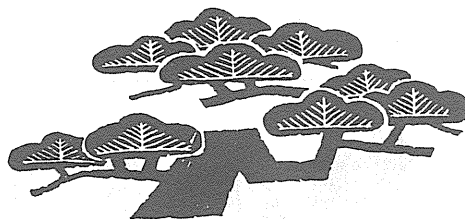
平成9年度は、24の養豚集団からの申請があり、その内容は、(1) 器具・器材・簡易施設整備事業の①ハウス豚舎, SEW の簡易施設整備事業は14集団, 事業費32,009千円 ②種豚導入事業は18集団, 事業費261,945千円 (2)産直体制確立事業は2集団, 事業費2,213千円, (3)地場消費促進事業は3集団, 事業費1,889千円, これら3事業で事業費総額298,056千円となっています。

なお、平成9年度地域養豚振興促進事業計画承認内容は別表のとおりです。 (次長 佐藤 勝也)

(別表)

平成9年度地域養豚振興促進事業計画承認内容

区 分	9年度事業計画承認申請額			9年度事業計画承認額			備 考
	事業内容	事業費	補助額	事業内容	事業費	補助額	
1 器具, 器材簡易施設整備事業	①ハウス豚舎, SEW, 給餌器堆肥処理施設	32,009	11,994		27,551	12,999	14集団
	②種豚の導入 2,979頭	261,945	38,727	2,500頭	219,321	32,500	18集団
計		293,954	50,721		246,832	45,499	
2 産直体制確立事業	販促資材, 資料作成, 試食会開催	2,213	1,062		2,149	1,031	2集団
3 地場消費促進事業	試食会開催, ポスター, 資料作成他	1,889	1,234		1,889	944	3集団
合 計		298,056	53,017		250,870	47,474	



## 口蹄疫の講演会と防疫演習について

宮城県畜産課

平成9年12月10日松島町において口蹄疫防疫体制の強化のため、宮城県、家畜畜産物衛生指導協会との共催による口蹄疫の講演会と机上防疫演習が市町村、農協の畜産担当者をはじめ畜産関係者約180名が参加して開催された。

第一部の講演会は、講師に日本での口蹄疫診断機関である農林水産省家畜衛生試験場海外病研究部白井室長をお願いした。白井室長から台湾の口蹄疫の発生は、地域によって発生の仕方が異なっており、飼養密度の高いほど発生が多かったこと、殺処分が遅れたところ長い期間発生していたことなど口蹄疫の防疫上参考となる疫学的解析がなされ、さらにタイの口蹄疫センターでのワクチン製造行程や臨床症状などがスライドにより紹介された。

また、白井室長から、口蹄疫はワクチンの使用によって防圧できるだろうとの安易な考え方は止めなければならない。日本は清浄国であり、このことが日本国内の畜産を守っている。一旦、日本で発生すれば、口蹄疫の発生被害ばかりでなく、汚染国からの安い畜産物の輸出攻勢に伝えていかなければならない状況に陥ってしまう。このため、台湾を含め東南アジアの口蹄疫発生国からの視察等の受入と口蹄疫発生国の畜産施設への視察の自粛、厨芥物の煮沸後給与の励行、異常家畜の発生した場合即刻最寄りの家畜保健衛生所へ通報する等日頃の防疫を強化する必要があるとの報告があり、白井室長の講演は終わった。

第2部の防疫演習は、机上演習の形で行われた。各家畜保健衛生所の職員は口蹄疫発時に組織される、現地本部長、庶務班、発生地防疫班、病性鑑定班、評価班、追跡班、検診班、移動制限班の役割を分担し行った。発生は、平成9年12月10日、発生場所を田尻町の養豚農家1戸と想定し実施した。開業獣医師による口蹄疫を疑う疾病の発生の届出から始まり、検査材料の採材と東京都国分寺市にある農林水産省家畜衛生試験場海外病研究部への材料の搬入、通行

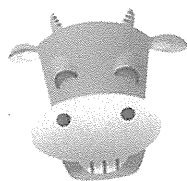
遮断、周辺の牛豚の飼養農場の検病、発生農場の同居豚を含めた飼養豚全頭の殺処分、農林水産省衛生課との協議、知事を本部長とする県口蹄疫防疫本部や現地対策本部、田尻町対策本部の設置等口蹄疫発生時の初動防疫作業を時間的経過をおって各役割を分担する家畜保健衛生職員がそれぞれが行う作業について説明を行った。

家畜保健衛生所職員の説明終了後、総括討議が行われた。白井室長からは、県内の家畜飼養農場の初発の想定だけでなく、県外で発生した場合も想定して置いたほうが良いとの助言があった。また、過去に口蹄疫が侵入し、清浄化が適切に実施できた国は、英国以外にないことが説明された。

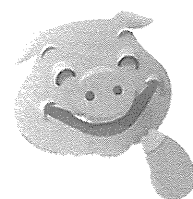
その英国の防疫対策は、8ヶ月間にわたり徹底した殺処分によるもので、防疫に要した費用だけで約1,500億円と言われている。

おりしも、講演会の最中、平成9年12月9日、台湾の新竹県、台中市で口蹄疫が再び発生したとの通報が農林水産省からあった。白井室長の口からは「やっぱり」との言葉が聞かれ、発生報告がないことと口蹄疫ウイルスが無くなったことは、必ずしも結びつかず、いつ最終発生となるのか判らないが、台湾の口蹄疫の清浄化までにはまだ当分かかるであろう。今後とも充分警戒する必要がある。また、台湾ばかりでなく、他のアジア諸国からの入国者からの肉類等の不法持ち込みが摘発されているので台湾以外の国の口蹄疫発生にも注意していただきたいとの話があり、演習は盛会裡に終了した。

(衛生課長 飯淵 良廣)



毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり  
肉となる、たいせつなタンパク源。  
ビタミン、ミネラルも豊富な、  
たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-12 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-382-8133

## 第11回ヘルシーセミナーの 開催について

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

宮城県生乳販連では来る平成10年1月29日(木)に第12回ヘルシーセミナーを開催します。

このセミナーは一般消費者の理解のもとに、会員各位並びに乳業メーカー等の協力のもとに開催され、地域に密着したイベントとして定着しております。

また、一般消費者に対する数少ない情報提供の場でもあり、そこで酪農ディスカッションは生産者の立場を理解してもらい正しい牛乳の知識普及を行う重要なポイントとなっております。

今回の講師には、東京大学医学部母子保健学助教授の福岡秀興先生に「女性の健康と骨」の演題で講演をして頂きますので是非お話を伺い聞き地域の活動に生かして頂きたいと思っております。

なお、ゲストには女優の吉行和子さんをお呼びしております。

また、その他のイベントとしまして乳業メーカーによる牛乳乳製品の即売会、試食試飲会、牛乳乳製品の料理試食コーナー、骨密度測定コーナー、そしてお楽しみ抽選会等盛り山な内容となっておりますので、是非皆さんお誘い合わせの上、ご参加下さるようお願い申し上げます。

※ 参加申し込み方法に対する詳しいお問い合わせは、下記までお願いします。

宮城県生乳販連「ヘルシーセミナー」係

022-224-1784

(販売課 村田 孝志)

## 実践大生校生の抱負

### 平成9年度畜産学部

### 卒業論文発表会

農業実践大生校畜産学部学習委員

先日の1月14日、私たちの実践大生としての集大成である卒業論文発表会を畜産試験場大会議室で行いました。当日は寒い中、指導して下さった試験場の研究員の方々の他に、関係機関の方や高校の先生にもたくさん来ていただき大変有り難うございました。

発表会では、私たち11名が取り組んだ11題の卒業論文の発表がありました。発表は、農家の実態調査あり、また、試験場の研究員の方と取り組んだハイレベルな発表ありと、バラエティ豊かでしたが、どれもこの1年間卒論に取り組んだ思いを発表時間12分に凝縮させた内容でした。

さて、発表は普段では味わえない緊張の連続で、質問に答えられず研究員の方にフォローしていただく場面もありましたが無事終了しました。その結果、首藤康孝君(フリーストール導入における経営調査)が優秀賞に輝き、優良賞に青柳直樹君(戻し堆肥による環境性乳房炎防除法)、奨励賞に菅野雅彦君(PCナビシステムの作成と利用)、努力賞には佐々木健太君(黒毛和種の繁殖成績実態調査)がそれぞれ受賞しました。優秀賞の首藤君の発表はフリーストール導入前後の乳牛の乳量・乳成分の増減について検討し、さらに、導入前後で問題点を比較し、自分が将来規模拡大を考えると、どのような点に注意してフリーストールに移行するのがよいか検討したもので、審査員の高い評価をいただきました。このうち上位3名は、1月20日の実践大全体の発表会で学部代表として発表します。

最後に、私達の卒業論文作成に貴重な時間を費やしご指導して下さった畜産試験場の先生方、実践大畜産学部の先生方、調査にご協力下さった皆様方に厚く感謝し、お礼申し上げます。

## 来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。



宮城県牛乳普及協会

仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

# ルビックス

牛用混合飼料

# S

アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化配合飼料

農協 全農 経済連

正統の育ちと味



仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL.022(264)8449-50

<畜試便り>

牧草・飼料作物の優良品種の選定について

宮城県畜産試験場

最近品種登録される牧草・飼料作物については収量・耐倒伏性・耐病性などの重要形質については輸入種、国内品種とも品種間の差はほとんどなくなり、特に収量性については育種の進展で極限近くに達しています。

こういった中で最近の市販品種に対する農家ニーズは機械化・省力化に対応し、長稈で倒伏せず、広い刈取適期幅をもち、少肥料でも安定収量で高エネルギー、嗜好性が良く消化率が高いといった点がますます強調されてきています。例えばトウモロコシでは中型で安定収量の子実用F1品種、牧草ではロールベアラ・ラップサイレージ向きの品種のウエイトが高まっています。

畜産試験場でもこのような傾向をみながら、各農業改良普及センターの協力を得ながら、有望とみられる新しい流通品種の比較試験を実施し、県内適応品種の選定にあたっています。

現在供試してする品種は、トウモロコシ17(うち調査完了3)、オーチャードグラス4、チモシー3、リードカナリーグラス3品種で、参考までに今年度の調査結果を表に示します。

1) 飼料用トウモロコシ(表-1)

今年度で調査を完了した3品種は、スノーデント108(DK542-雪印種苗)、ゴールドデントKD741(KD741-カネコ種苗)、スノーデント124(G4655-雪印種苗)で、それぞれの生育特性は、DK542が早生・雌穂実性良・耐倒伏性良、KD741が晩生・耐倒伏性良・耐倒(ごま葉枯)性強、G4655が晩生・太茎・多収とされています。

今年度の調査結果では、DK542は初期生育、伸

長とも良好で、乾物収量も早生種の中では抜きんできていましたが、乾物中の雌穂重割合は並で、ごま葉枯病には弱さを示しました。KD741は、低温伸長性に弱く、初期生育は不良でしたが収量性は良く、ごま葉枯病には極強でした。G4655は、初期生育がやや不良でしたが長稈・太茎で収量性は最良でした。ただし雌穂稔性がやや不良で、雌穂重割合に劣りました。

2) オーチャードグラス(表-2)

現在調査中の品種はナツミドリ、オカミドリ、ハイキング、ハイキングIIの4品種です(北海道農試で育成されたオカミドリを除き全て雪印種苗育成)。それぞれの生育特性は、ナツミドリが早生・耐暑性強・通年安定多収、オカミドリが中晩生・耐雪性極強・耐病(葉枯)性強、ハイキングが晩生・1番草多収、ハイキングIIが極晩生・越冬性良・1番草多収とされています。

今年度の調査結果では、出穂期が極晩生であるハイキングIIで早生のキタミドリ並に早まりました。また1番草の収量はハイキングで最も高く、一方、刈取後の再生はナツミドリで良好であり、越夏性の評価でも最良だったものの、その後の収量にはそれほど反映せず、年間乾物収量ではハイキングが最高の成績となりました。その他チモシーなど2草種については今年度から調査を開始しています。

なお調査を完了した飼料用トウモロコシについては過去2年間の成績と合わせて県飼料作物奨励品種選定協議会で厳正な審議を受けて、優良な品種は県奨励品種に決定されます。

(草地飼料科研究員 鈴木 雄)

表-1 飼料用トウモロコシ調査成績

Table with 13 columns: 系統名, RM, 出芽期, 絹糸抽出期, 収穫期, 出芽~収穫日数, 播種後40日草丈, 稈長, 着雌穂高, ごま葉枯病罹病指数, 生草収量, 乾物収量, 乾雌穂重割合

注) ごま葉枯病罹病指数は被害程度と被害面積による評点法で、0が被害なし、5が被害甚を表す。

表-2 オーチャードグラス調査成績

Table with 13 columns: 品種名, 出穂期, 草丈 (1番草, 2, 3, 4), 乾物収量 (1番草, 2, 3, 4), 再生程度, 越夏性, 葉枯病罹病度

注) 再生程度は夏季刈取後の再生草勢、越夏性は初秋の草性・緑度を表す評点法で、極不良を1、極良9とする。葉枯病罹病度は0がなし、9が発生甚を表す。



<衛生便り>

豚の日本脳炎

仙台家畜保健衛生所

豚の日本脳炎は、人の日本脳炎と同じウイルスの感染によって起こり、繁殖豚の死産と種雄豚の生殖障害を特徴とする疾病です。このウイルスは主として感染動物を吸血したコガタアカイエカにより伝播され、蚊→豚(ウイルス血症)→蚊→人・動物の感染サイクルが実証されており、豚が本ウイルスの増幅動物として注目されています。

本ウイルスの感染により妊娠豚は無症状か、軽い発熱が見られるだけで、後遺症もなければ不妊にもなりません。胎児に対して障害を与えます。異常産は分娩予定日の前後に起こることが多く、その発生形態は様々で、1腹全部が死産の場合もあれば死産と生子が混ざっていることもあります。死産にはミイラ化したものや、妊娠初期に死亡したと思われる黒子、妊娠末期に死亡したと思われる白子等、いろいろな形状のものが認められます。生子には正常に発育するものと脳炎症状を示して死亡するものがあります。異常産は、経産豚には少なく、主として未越夏の初産豚に多発する傾向があり、妊娠豚が本ウイルスの初感染を受けた場合、37~40%に異常分娩が起こり、妊娠中期の感染で最も高率となります。異常産の発生時期は日本脳炎の流行(蚊の発生)時期に密接に関係し、胎児は死亡後すぐに娩出されないことが多いため、その地域での流行開始後しばらく経過してから発生します。種雄豚が感染するとウイルスは精巣や精巣上体で増殖するため、精子異常や無精子症を起こすことがあります。

この疾病の予防は、ウイルス流行前のワクチン接種が効果的で、東日本では5~6月に接種します。

家畜保健衛生所では昭和58年より本ウイルスの抗体検査を実施し、県内における流行状況を確認していますが、本年度は、日本脳炎ウイルスの小流行が確認されています。

この疾病は流行すると、産子数が減少するため経済的な損失が非常に大きい疾病ですから、ワクチン接種を実施して日本脳炎の発生予防に努めましょう。

(病性鑑定課 早坂 駿哉)

<地域紹介>

「畜産環境シンポジウム

in大崎」の開催

古川家畜保健衛生所

例年、大崎地域で開催している畜産講演会に今年は、去る11月28日に「畜産公害の発生防止と家畜糞尿の堆肥化、農地還元による地域環境保全型農業の展開」という課題を取り上げ、畜産農家や関係者約220名の参加を得て有意義な研修をする事ができました。

基調講演に、神奈川県畜産研究所専門研究員の本多勝男氏を迎え、長年の研究と実践に基づいたお話を伺うことができました。本田さんは、「畜産経営の一番のやっかいものが糞尿。これを野積み放置すれば畜産経営の存続は許されない世の中になってきた。家畜は糞を生産する動物と認識し直して、有機質堆肥を作っていくことが必要。簡単にいえば、堆肥作りは有機物を微生物に分解させること。微生物が活発に活動するために不可欠の酸素を供給する通気性の確保がポイント。」とお話しされました。

講演に続き、「有機物資源のリサイクル促進を目指して」をテーマに堆肥の生産、利用に関わる大崎管内の農業者等がシンポジウムを行いました。

このテーマを選んだ背景には大崎地域での環境保全型農業への関心の高まりと畜産公害問題の頻発という問題があります。平成9年度の幕開けから、大規模採卵養鶏場から発生するハエ騒動、酪農家の堆肥場から流出した汚水によるため池の汚染、鶏糞の不適切処理等の問題が頻発したのです。

現場での緊急の改善策から、原因発生者の啓蒙、抜本的解決への誘導と担当職員は知恵を絞り悪戦苦闘してきました。今回のシンポジウムを契機に、根本的な対応を模索する動きを加速させたいと考えています。

(次長 西田 茂)



**WORLD 世界の**  
**WORLD 畜産**

株式会社 **五十嵐商会**  
 仙台市若林区卸町五丁目1番地4  
 電話(022)236-2525(代表)

# 賀 春

宮城県農業協同組合中央会長  
 宮城県経済農業協同組合連合会長  
 宮城県信用農業協同組合連合会長  
 宮城県農業共済組合連合会長  
 宮城県生乳販売農業協同組合連合会長  
 宮城県農業公社理事長  
 宮城県草地協会会長  
 宮城県獣医師会長  
 宮城県酪農協会会長  
 宮城県ホルスタイン協会会長  
 宮城県軽種馬協会会長  
 宮城県養豚協会会長  
 全国和牛登録協会宮城県支部長  
 宮城県肉用牛協会会長  
 宮城県家畜畜産物衛生指導協会会長  
 宮城県牛乳協会会長  
 宮城県家畜商協同組合理事長  
 宮城県養鶏協会会長  
 宮城県ホルスタイン改良同志会長  
 宮城県家畜人工授精師協会会長  
 宮城県肉用牛価格安定基金協会会長  
 宮城県牛乳普及協会会長  
 宮城県食肉消費対策協議会会長  
 宮城県畜産会会長

駒口 盛  
 駒口 盛  
 駒口 盛  
 佐藤 清夫  
 佐々木 三郎  
 西城 光政  
 三浦 弘彰  
 鈴木 新  
 佐藤 育也  
 及川 富男  
 大石 正光  
 千葉 清治  
 佐竹 仁郎  
 木村 春雄  
 菅原 郁夫  
 篠田 定芳  
 三戸部 栄一  
 岩谷 寿夫  
 及川 富男  
 野地 昭二  
 寺島 英毅  
 佐々木 三郎  
 佐藤 利吉  
 大堀 哲

## 宮城県動物薬品器材協会 (会員名)

(株) タ ッ ク 仙台市青葉区上杉3-3-8 TEL022-225-7330	(株) 美 濃 谷 仙台市太白区羽黒台31-14 TEL022-245-4306
(株) エ ー シ ン 仙台市若林区卸町2-10-3 TEL022-284-8111	小 田 島 商 事 (株) 古川市清水字周防10-1 TEL0229-26-4567
(株) ト ー シ ン 古川市古川字上古川屋敷9-1 TEL0229-24-3211	(株) ニ 子 エ ー 仙台市若林区卸町東1-8-20 TEL022-232-9755